



# 福島南ロータリークラブ

基本方針:ロータリーを实践しみんなに豊かな人生を

事務局/〒960-8151 福島市太平寺字通吹 6-2 ザ・36・メイファイブ 1F2号室  
tel. 024-546-3793 fax. 024-545-7878  
例会場/サンパレス福島 〒960-8101 福島市上町 4-30  
tel. 024-523-3811(代) fax. 024-523-0375  
HP アドレス <http://www.inaka.ne.jp/f-southrotary/index.html>



■会長 : 大野順道 ■幹事 : 金子親房  
■会報委員長 : 丹治洋子 ■副委員長 : 佐藤朋也  
■委員 : 中央清和 菅野良二 吉田仁一 渡辺勇

## 第47回例会

平成 26 年 6 月 25 日 (水) サンパレス福島

■会員/74 名 ■出席/48 名 ■出席率/64.86% ■メイクアップ/26 名 ■修正/74 名 ■修正率/100.00%

### 本日のプログラム

- 1 開会点鐘
- 2 来訪者紹介と会長挨拶
- 3 インターアクトリーダー研修会報告
- 4 各委員会報告
- 5 会長挨拶
- 6 幹事挨拶
- 7 閉会点鐘

### 会員の広場

福島南ロータリークラブの2013 - 2014 大野年度もいよいよ接岸です。素晴らしい舵取りありがとうございました。(合掌) 74 名の大家帯で次は高橋年度です。高橋新会長の新しい船出を期待します。ますます磨きをかけて頑張ってください。

### 今日の一面記事

厚生労働省が 27 日発表した 5 月の有効求人倍率 (季節調整値) は前月比 0.01 ポイント上昇の 1.09 倍と、バブル経済崩壊から間もない 1992 年 6 月 (1.10 倍) 以来、21 年 11 カ月ぶりの高水準まで回復した。改善は 18 カ月連続で、1 倍台は 7 カ月連続。

(6 月 27 日日経新聞)

## ◆会長あいさつ◆

大野 順道 会長



それでは、お客様をご紹介します。パストガバナー補佐、福島中央ロータリークラブパスト会長、芳賀裕様です。今日は、ローターアクトにつ

いてお話をさせていただきます。宜しくお願ひ致します。改めまして、皆さん、こんにちは。愈々最終例会を迎える事となりました。皆様のご協力によりまして、1 年間無事に終えることが出来ましたことを感謝申し上げます。福島南ロータリークラブのバッジを改めて購入致しましたので、お持ちでない方は、ぜひお持ち帰り下さい。福田順一会員には、今日、最後のタクトを振って頂きました。次年度、海老根会員と交代するという事で、最後の例会出席となりました。多くのロータリー活動と、沢山の楽しい思い出をありがとうございました。後ほど御挨拶を頂きます。私はこの 1 年を振り返り、改めてご挨拶を致しますので宜しくお願ひ致します。

## ◆会長退任挨拶◆

大野 順道 会長



ロンD・バートン RI 会長の掲げる RI テーマは 「ロータリーを实践し みんなに豊かな人生を」 渡邊公平ガバナーの掲げた地区テーマは 「未来の子供たちの

輝く笑顔のために」 クラブとしては、脚下を照らして「さあ、ロータリーを实践しましょう」を 2013-2014 年度の方針としてスタート致しました。

会場監督は、常々「委員会活動が、ロータリー活動の基本である」と言う、その言葉通りに、例会の運営やお客様に対してのおもてなしをして頂きました。

奉仕管理委員会(兼)プログラム委員会委員長は、クラブフォーラムで、より良いクラブ運営について討論し、各委員会の充実を図るとともに、適切なプログラムの変更をして頂きました。

会員増強委員会の皆さん、そして職業分類・会員

選考委員会の皆さんの御尽力によりまして、ロータリアンとして認められる会員 8 名が入会し、純増 6 名でクラブ会員が 74 名となりました。

親睦活動委員会の皆さん、会員の誕生日のプレゼントに花言葉を添えて下さり、家族例会や夜間例会に於いては、多くのお楽しみを企画して頂きました。

ロータリー情報委員会の皆さん、新会員セミナーの開催で、新会員のみならず会員へ情報を提供して下さいました。

広報・雑誌委員会委員長、委員会の皆さん、毎月の「ロータリーの友」の紹介と、当クラブの奉仕活動の広報に努めて下さいました。

クラブ会報委員会の皆さん、それぞれの個性を添えて、毎週の会報の作成に努めて下さいました。

出席委員会は、会員の例会出席を促すと共に、毎週、出席率を例会や会報にて報告して下さいました。

スマイリング BOX 委員会の皆さん、スマイリング BOX への御協力を願ひ、目標を達成されました。また、会員のコメントと共に寄金額を、毎回例会でご報告して下さいました。

奉仕プロジェクト管理委員会委員長(兼)災害復興支援室長、社会奉仕を各委員会に適切に活動を促し、多くの社会奉仕を行うことができました。

職業奉仕委員会の皆さん 毎回の例会での「四つのテスト」の唱和とともに、その意味を会員が深く理解するよう、また、ロータリーがロータリーであるために、職業奉仕の大切さを説いて下さいました。

社会奉仕委員会は、クラブの社会奉仕事業に地区補助金を受けるためにご尽力下さいました。

国際奉仕委員会委員長、副委員長には、会員にエコキャップ収集を促して下さいました。旅行に関しては、先ずは、自国を知るべきということでの奈良京都旅行で、日本の 1300 年余りの歴史を肌で感じる事ができました。

新世代奉仕委員会の皆さん 成蹊高校インターアクトクラブのスポンサークラブとして、ご尽力下さいました。

ロータリー財団委員会は、ロータリー財団に新しい補助金モデルが導入されましたことに対応し、地区補助金の活用にご尽力して下さいました。

米山記念奨学会委員会、本年度、台湾の江 沛勳くんを快く受け入れ、見守り、指導激励して下さいました。

ゴルフ部会委員長、7 回のクラブのコンペ、第一分区分のコンペ、姉妹クラブとのコンペ等のお手配をして下さいました。

長期計画委員会(現戦略計画委員会)委員会の皆さんによるクラブフォーラムでは、クラブの長期的な目標や、討議によるクラブの在り方に対して、今後活かすことができる様々な会員の意見が話されました。

会員スピーチは、最高齢の佐藤誠会員や三浦善治会員、国際奉仕をされている菅野良二会員と 8 名の新会員にして頂きました。

金子親房幹事には、1 年間本当にありがとうございました。年下の私を、微に入り細に渡り支えて下さいましたことを感謝致します。また、私の年度でお別れとなりました、事務局の三浦さんありがとうございました。サンパレスの皆様にも感謝致します。高橋勇雄会長、吉田和義幹事の次年度が、素晴らしい年度となります事を御祈念申し上げ最終例会の御挨拶と致します。

## ◆幹事退任挨拶◆

金子 親房幹事



いよいよ例会最終日となりホットする一瞬を迎えようとしています。私の場合達成感とはチョット程遠い状態でしたが、お蔭様で大事に至る事もなく、取

り敢えず本日役目を終了できます事、会員の皆様をはじめ多くの方にご協力ご鞭撻を頂き、衷心より感謝と御礼を申し上げます。

大野会長とパートナーを組み、仏教界の方とこれ程身近に親しく話を重ねお話を頂きました事、嬉しく思うと同時に、生前に多くの供養を頂いた感じがします。結構長生きできるのではと心良くしています。大野会長に合掌ですね。

又、幹事の心得として、大野会長が、安心して速やかに会長職が全うでき得る信頼と、段取りをする事でしたが、大分足枷になったのではと思います。但し例会は出来るだけ 1 時間でプログラムを遂行する事、その為には事前に担当者を確認をさせて頂き、時間配分等をお知らせし、スピーチの時間にご協力を頂き、出来るだけスムーズに展開される事に趣をおきました。しかしタイムオーバーになると、正面に居らっしゃる皆様の目色が、段々と険しく感じられました。これは私の想い過ごしでしょうか。

初期の段階ではハラハラドキドキ、ケアレスミスで連続で、これではリタイアも時間の問題かと懸念もいたしました。しかし重ね重ね先輩会員からの助言、激励を頂き、奮起し今日に至りました。何れにしてもこの最終回を迎えた事、自分にとっては長い~長い一年が終了します。

第 47 回最終例会を無事終了します事、会員の皆様、そして今年度の役員理事の皆様、この一年間大変お世話になりました。これを持ちまして幹事挨拶と致します。有難うございました。

初年度の段階ではハラハラドキドキ、ケアレスミスで連続で、これではリタイアも時間の問題かと懸念もいたしました。しかし重ね重ね先輩会員からの助言、激励を頂き、奮起し今日に至りました。何れにしてもこの最終回を迎えた事、自分にとっては長い~長い一年が終了します。

第 47 回最終例会を無事終了します事、会員の皆様、そして今年度の役員理事の皆様、この一年間大変お世話になりました。これを持ちまして幹事挨拶と致します。有難うございました。

第 47 回最終例会を無事終了します事、会員の皆様、そして今年度の役員理事の皆様、この一年間大変お世話になりました。これを持ちまして幹事挨拶と致します。有難うございました。

## 一編集後記一

大野会長、金子幹事、そして各委員会委員の皆さん 1 年間お疲れさまでした。新年度からは新体制でスタートする福島南ロータリークラブを、全会員の力で魅力あるものにして行きましょう。

(さとう)